

# 開催概要

開催日時	2008年3月2日(日) 10:30 ~ 16:30
会場	CSK 多摩センター WEST
主催	多摩地区障がい者支援シンポジウム実行委員会
事業助成	社会福祉法人 読売光と愛の事業団
後援	多摩市、多摩市教育委員会、社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会、 社会福祉法人 稲城市社会福祉協議会、NPO 法人 多摩市障害者福祉協会、 都立多摩養護学校、都立南大沢学園養護学校、都立八王子養護学校、 都立多摩養護学校 PTA、都立南大沢学園養護学校 PTA、都立八王子養護学校 PTA、 (株)多摩テレビ
協賛	(株)CSK ホールディングス、東京グリーンシステムズ(株)、 社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター、京王電鉄(株)、 京王電鉄バス(株)、(株)京王シンシアスタッフ、(株)ベネッセコーポレーション、 (株)ベネッセビジネスメイト、NPO 法人 ハンディキャブゆづり葉、 (株)日本テレビフットボールクラブ(東京ヴェルディ)

## <プログラム>

### 第一部 展示発表・ワークショップ

第一部は、「多摩市における障がい者支援の現状と実例」をテーマに、展示発表とワークショップが行われ、各関係機関・団体が参加しました。目で見て分かる展示物を前に、大勢の来場者が関心を持って見学されました。

### <挨拶>

多摩地区障がい者支援シンポジウム実行委員会 代表 (東京学芸大学副学長) 渡邊 健治 氏

最初に挨拶に立った渡邊氏は、「その地域に住んで生活をしている関係者の意識や活動こそが福祉などのあり方に大きく反映される」と指摘されました。さらに、「私たちが住んでいる地域で、住民が手を結び、ネットワークを広げ、障がい者とともに、障がい者の支援の力を育み発展させていくことが、実は自治体の取り組みを豊かにし、障がい者自身があたりまえの生活をしていくことに結びついていく」と説明されました。

そして「本日は、多くの皆様に支えられて、シンポジウムを開催することができました。

これからも、障がいのある人とともに、住みよい、支え合う街づくりを願い、各自がそれぞれの立場で一步一步取り組みを進めていきたい」と抱負を述べられました。

### <挨拶>

多摩市長 渡辺 幸子 氏

渡辺市長は、「本日は、300名を超す多くの方々にご来場いただいたことに感謝します。展示内容も充実し、会場を提供していただいた CSK ホールディングスにも感謝しています」と挨拶されました。

「多摩市の障がい者支援として、各自のライフスタイルに合わせた取り組みを紹介し、東京グリーンシステムズ(株)のコンセプトである『障がい者とともに、社員とともに、地域とともに、自然とともに』と同様に、多摩市も障がい者とともに学びあう中で支援の輪を広げて行きたい」と述べられました。

## 第二部 特別講演

テーマ：地域で共に生きるとは ~障がい者のニーズと支援~

(財)休暇村協会 理事長 前環境事務次官 元厚生省社会・援護局長 炭谷 茂 氏

炭谷氏は、「精神障がい者などの人権や社会参加の面では10年前はイギリスなどと比べ30年遅れていると見ていた。今では少し縮まっただろうがやはり相当の差がある」と指摘され、自身がヨーロッパで障がい者の福祉行政を学んできた経験から、「福祉に対して掛け声や啓蒙活動だけではこれからの進展は見られない。これから必要な理念はソーシャルインクルージョン(社会的包摂)である」と紹介されました。

「ソーシャルインクルージョンとは、いままで社会的に排除されてきた障がい者などをいかに地域と結びつけていくか、彼らが地域の中でいかに生活していくかという考え方で、その実現には具体的な事業が効果的です。ヨーロッパでは、有機農法やリサイクル事業、公的施設の管理、ホテル、スーパーマーケットなどの仕事に障がい者が従事しています。障がい者が就労に付くことで、経済的な自立や、自身のプライドの自立、心身の健康などさまざまな面で効果が出ています。障がい者が社員のほとんどを占める会社が、ヨーロッパ全体では既に1万社設立されているので、日本では2,000社を目標に、今後、活動を進めて行きたい」と述べられました。

## 第三部 14:30~16:30 シンポジウム

テーマ：「結ぼうみんなの手を、育もう支える力を！」

司会 東京学芸大学 渡邊 健治 氏

### <提 案>

「私たちが期待する特別支援教育」	渡辺 和弘 氏(竹早教員保育士養成所)
「自立支援法の実態、そしてどこが問題か」	北沢 清司 氏(高崎健康福祉大学)
「就労と生きる力」	岡 孝介 氏(東京グリーンシステムズ)
「保護者の願いを地域の力に」	野原 恵 氏(都立高島養護学校PTA)

### <指定討論者>

古川 美賀 氏(多摩市子ども家庭支援センター)  
千葉 正法 氏(多摩市教育委員会)  
中原 さとみ 氏(桜ヶ丘記念病院)  
長尾 すみ江 氏(特定非営利活動法人 あしたや共働企画)

第三部のシンポジウムでは、シンポジストとして渡辺 和弘 氏、北沢 清司 氏、岡 孝介 氏、野原 恵 氏の4名から、それぞれの視点での提案が述べられました。その後、指定討論に移り、古川 美賀 氏、千葉 正法 氏、中原 さとみ 氏、長尾 すみ江 氏の4名が、シンポジストを指定して討論が繰り広げられ、熱のこもったシンポジウムとなりました。